

# Small Business VoIP ルータ : 高度なワイヤレス設定の識別

---

## 目次

### [概要](#)

[ワイヤレス VoIP ルータで変更でき、ことがする高度ワイヤレス設定とは何か。](#)

### [関連情報](#)

## [概要](#)

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

### [Q. ワイヤレス VoIP ルータで変更でき、ことがする高度ワイヤレス設定とは何か。](#)

#### A.

Cisco 小企業 無線ルータの高度ワイヤレス設定は異なるオプションをカスタマイズし、無線ネットワークのパフォーマンスを最適化することを可能にします。ただし、Cisco 小企業はルータの先発ワイヤレス設定を変更することを推奨しません。現在の設定はルータのワイヤレスパフォーマンスを最適化するために行われました。

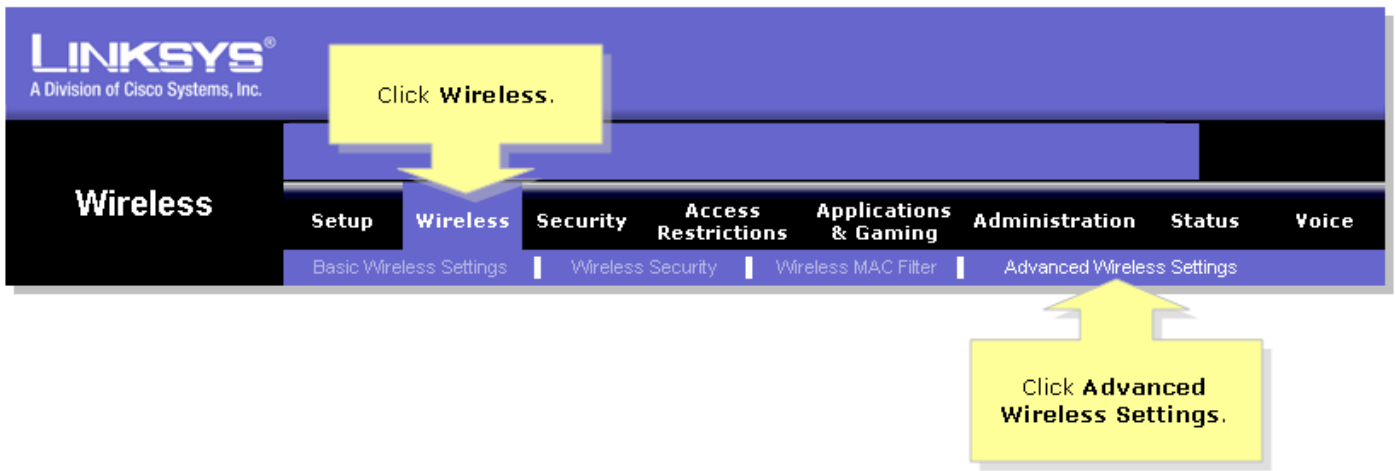
#### 高度ワイヤレス設定にアクセスして下さい

##### ステップ 1 :

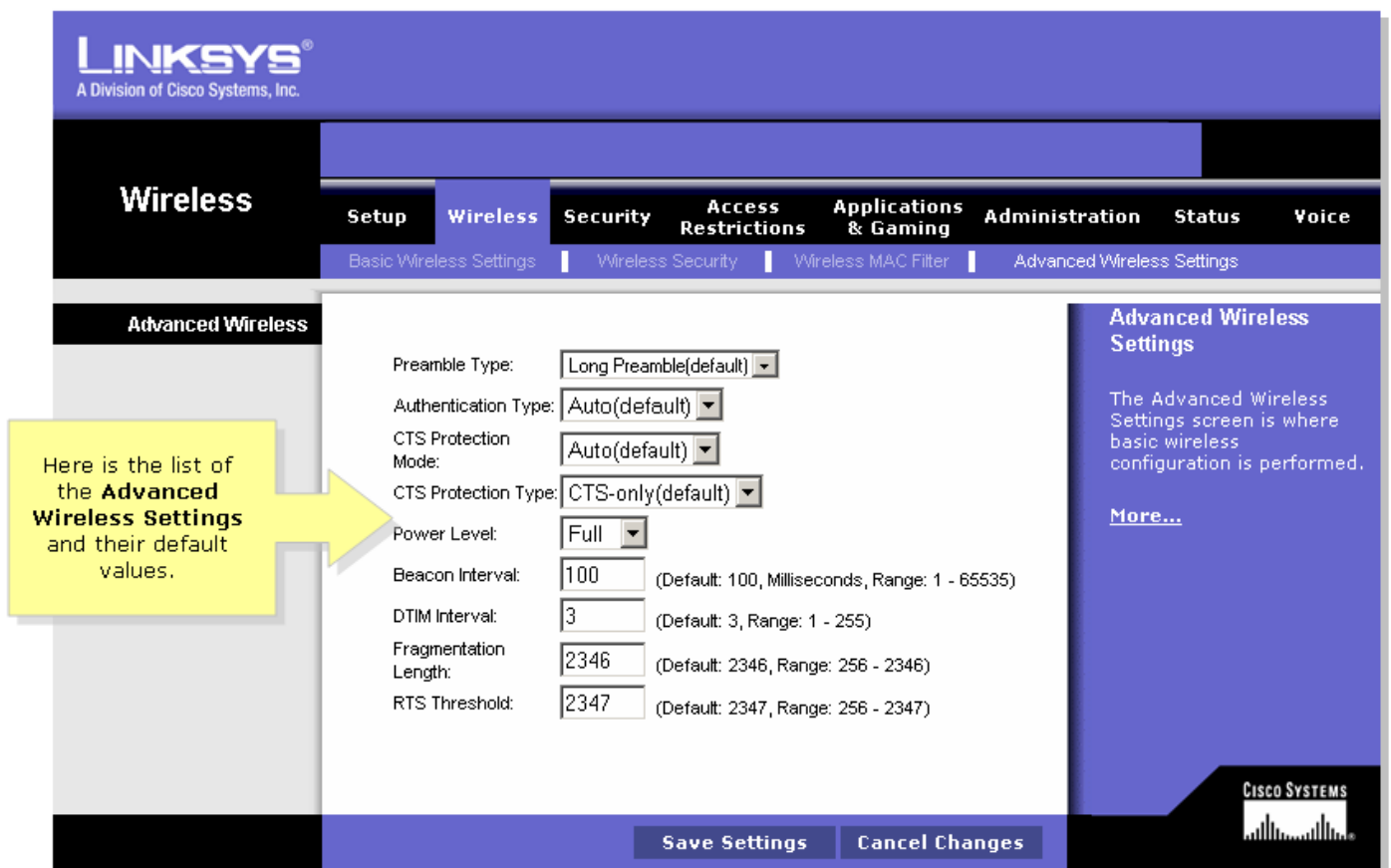
ルータの Web ベース セットアップ ページにアクセスします。手順については [ここ](#) をクリックしてください。

##### ステップ 2 :

ルータの Web ベース セットアップ ページが提示されるとき、ワイヤレス設定を『Wireless』 をクリックして下さい > 進めました。



ステップ 3 :  
高度ワイヤレス Settings ウィンドウは現われます。いくつかの詳細はここにあります:



### プリアンブル型

プリアンブルはルータとローミング ネットワークアダプタ間の通信のための CRC ブロックの長さを定義します。高いネットワークトラフィック エリアはより短いプリアンブル型を使用する必要があります。

### 認証タイプ

デフォルトは使用されるべきオープンシステムが共有鍵認証を可能にする自動に設定されます。オープンシステム 認証に関しては、送信側および受信者は認証のためにネットワーク キー (ワイヤレス パスワード) を使用しません。ネットワークが認証のためにキー入力する共有鍵認証、送信側および受信者の使用に関しては。共有鍵認証だけ使用したいと思う場合共有鍵を選択して下さい。

### CTS 保護 モード

デフォルト値はオートに設定されます。多くのワイヤレスG デバイスがある時ワイヤレスB デバイスはワイヤレスG ルータに接続されるように自動へのセットが、保護メカニズムする時

。ただし、ワイヤレスG デバイスの効率は減少するかもしれません。

#### **ビーコン間隔**

この値はビーコンの周波数 間隔を示します。ビーコンはルータによってパケット ブロード キャスト ネットワークを同期しておくために行います。

#### **DTIM 間隔**

この値は配信トラフィック示す値メッセージ ( DTIM ) の間隔を示します。DTIM フィールドはブロードキャストするべき受信およびマルチキャストメッセージのための Next ウィンドウのネットワークの PC を知らせる秒読みフィールドです。デフォルト値は 1 つに設定されます。

#### **フラグメンテーション しきい値**

この値は捧げられるかルータのリソースのどの位パケットエラーの回復に示します。デフォルト値は矛盾したデータフローに出会わなければ 2347、のでそのような物残るはずです。イベントではマイナー な修正だけが推奨されます、矛盾したデータに出会います。

#### **RTS しきい値**

この値は 2346 のデフォルト設定に残るはずです。もし矛盾したデータフローに出会えば、マイナー な修正だけが推奨されます。

注: 機能はルータの型番によって変わるかもしれません。

## **関連情報**

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)